アウェナ ストリゴサ種(案)

Black oats

(Avena strigosa Schreb.)

アウェナ ストリゴサ種審査基準

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この基準はイネ科 (*Poaceae*) のカラスムギ属 (*Avena* L.) のアウェナ ストリゴサ種 (*A. strigosa* Schreb.)の全ての品種に適用する。

Ⅱ. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 種子
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii)数量 3,000粒

種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。

- iv)提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は、審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないもの であること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載するこ と。

Ⅲ. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 A:個体植え試験区 100個体(2区以上に反復)

B:列条試験区 1,000個体(2区以上に反復)

- iii) 栽培期間 2生育周期
- iv)調查方法

調査個体数 特に指示がない限り、植物体20個体又は各個体から採取した部分 20個について調査する。均一性は供試したすべての個体で判定する。

調査時期 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載した生育ステージに関する十進コードで示された時期に行う。

v)特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を 添えて申告し、審査当局がそれに同意した場合は実施することがあ る。

IV. 判定基準

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性(DUS)審査のための一般基準に基づくものとするが、均一性の判定については以下のとおりとする。

均一性の判定基準は、供試個体数が1,000 (特性表中に"B"で示した特性) の場合、許容される異型個体数は3である (0.1%の母集団標準 (population standard) において95%の受容確率 (acceptance probability) を適用する)。

供試個体数が100 (特性表中に"A"で示した特性)の場合の均一性の評価は、2 段階で行う。第一段階は、植物体20個体又は各個体から採取した部分20個を調査し、異型個体が認められない場合は、その品種は均一であるとみなす。異型個体が4 以上認められた場合は、その品種は均一とはみなさない。もし、 $1\sim3$ の異型個体が認められた場合は、さらに植物体80個体又は各個体から採取した部分80個を調査する。

V. グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- i) 出穂期(形質8)
- ii) 茎の最上節間のろう質(形質11)
- iii) 止め葉の葉しょうのろう質(形質18)
- iv) 草丈 (形質19)
- v) 原麦粒の外穎の色(形質22)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G: グループ分けに使用する形質

(*): 品種記載の国際調和ための必須調査形質

QL: 質的形質 QN: 量的形質

PQ: 擬似の質的形質

(+): Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG:植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS:植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS:植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

網掛け(特性表のピンク色の部分): 願書に添付する説明書(種苗法施行規則第7条、 別記様式第2号)に出願者が記載する特性及び階級値

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、 5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状 (St	階級 (Note)	
(日本語)	(日本語) (English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に

使用するよう留意する。

	状態				
	(State)				
(日本語)	(English)	(Note)			
極小	very small	1			
かなり小	very small to small	2			
小	small	3			
やや小	small to medium	4			
中	medium	5			
やや大	medium to large	6			
大	大 large				
かなり大	large to very large	8			
極大	very large	9			

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	U P O	記	形 (Charac	質 teristics)	定義	調査	階		状態 (State)	標準品種	備考
番号	O V	号	(日本語)	(English)	上 我	方法	級	(日本語)	(English)	(Ex.Var.)	1
1		QN	草姿	Plant: growth habit	分げつ中期の草型	観察	1	直立	erect		
		(+)				VG	3	やや直立	semi-erect		
						25-29	5	中間	intermediate		
						A/B	7	ややほふく	semi-prostrate		
							9	ほふく	prostrate		
2		QN	最下位葉の葉しょう	Lowest leaves:	分げつ中期の最下位葉の	観察	1	無又は極少	absent or very few	Pratex	
		(+)	の毛	hairiness of sheaths	葉しょうの毛の多少	VG	3	少	few		
						25-29	5	中	medium		
						A/B	7	多	many		
							9	極多	very many		
3		QN	最下位葉の幅	Lowest leaves: width	分げつ中期の最下位葉の	観察	1	極狭	very narrow		
					幅	VG	2	狭	narrow		
						25-29	3	中	medium		
						В	4	広	broad	Pratex	
							5	極広	very broad		
4		QN	止め葉下の葉身の	Leaf blade: hairiness	穂ばらみ期の止め葉直下	観察	1	無又は極少	absent or very few	Pratex	
		(*)	周縁の毛	of margins of leaf	の葉身の周縁の毛の多少	VG	3	少	few		
		(+)		below flag leaf		40-45	5	中	medium		
						A/B	7	多	many		
							9	極多	very many		

形質番号	U P	記	形 (Charac	質 teristics)	定義	調査	階		状態 (State)	標準品種	備考
番号	O V	号	(日本語)	(English)	7.2 3.2	方法	級	(日本語)	(English)	(Ex.Var.)	VII3 3
5		QN	止め葉が反曲した	Plant: frequency of	小穂出現期の止め葉が反	観察	1	無又は極低	absent or very low		
		(+)	植物体の出現頻度	plants with recurved	曲した植物体の出現頻度	VG	3	低	low		
				flag leaves		49-51	5	中	medium		
						В	7	高	high		
							9	極高	very high		
6		QN	止め葉の長さ	Flag leaf: length	止め葉の長さ	測定	3	短	short		
						cm	5	中	medium	Pratex	
						MS	7	長	long		
						49-59					
						A					
7		QN	止め葉の幅	Flag leaf: width	止め葉の幅	測定	3	狭	narrow		
						mm	5	中	medium	Pratex	
						MS	7	広	broad		
						49-59					
						A					
8		QN	出穂期	Time of panicle	供試株の50%の穂に最初	観察	3	早	early	Pratex	
		(*)		emergence (first	の小穂が見えた時期	MG	5	中	medium		
		G		spikelet visible on		50-52	7	晚	late		
				50% of panicles)		A/B					
9		QN	茎の最上節のアント	Stem: anthocyanin	茎の最上節のアントシアニ	観察	1	無又は極少	absent or very weak		
		ζ.,	シアニンの着色	coloration of	全の版工間のプラインテー ンの着色の強弱	VG	3	少	weak		
			• / · • • · // · · · · ·	uppermost node		60-65	5	中	medium		
				appointage from		A/B	7	多	strong		
							9	² 極多	very strong		

形質番号	U P	記	形 (Charac	質 teristics)	定義	調査	階		状態 (State)	標準品種	備考
番号	O V	号	(日本語)	(English)	, _ ,,	方法	級	(日本語)	(English)	(Ex.Var.)	
10		QN	茎の最上節の直径	Stem: diameter of	茎の最上節の直径	測定	3	小	small		
				uppermost node		mm	5	中	medium	Pratex	
						MS	7	大	large		
						60-65					
						A					
11		QN	茎の最上節間のろう	Stem: glaucosity of	茎の最上節とその直下の	観察	1	無又は極少	absent or very weak	Pratex	
		G	質	uppermost internode	節間のろう質の多少	VG	3	少	weak		
						60-65	5	中	medium		
						В	7	多	strong		
							9	極多	very strong		
12		QN	芒の長さ	Awn: length	芒の長さ	観察	1	無又は極短	absent or very short		
		(*)				VG	3	短	short		
						60-65	5	中	medium	Pratex	
						A/B	7	長	long		
							9	極長	very long		
13		QN	芒のアントシアニン	Awn: anthocyanin	芒のアントシアニン着色の	観察	1	無又は極弱	absent or very weak		
		(*)	の着色	coloration	強弱	VG	3	弱	weak	Pratex	
						60-65	5	中	medium		
						A/B	7	強	strong		
							9	極強	very strong		
14		QN	包穎のろう質	Glumes: glaucosity	開花終期の包穎のろう質	観察	1	無又は極少	absent or very weak	Pratex	
					の多少	VG	2	少	weak		
						65-69	3	中	medium		
						В	4	多	strong		
							5	極多	very strong		

形質番号	U P	記	形 (Charac		定義	調査	階		状態 (State)	標準品種	備考
番号	O V	号	(日本語)	(English)	人。我	方法	級	(日本語)	(English)	(Ex.Var.)	THI A
15		QN	茎の最上節間の長	Stem: length of	茎の最上節とその直下の	測定	3	短	short		
			さ	uppermost internode	節間の長さ	cm	5	中	medium		
						MS	7	長	long	Pratex	
						69-85					
						A					
16		QN	穂の分枝の向き	Panicle: attitude of	乳熟期の穂の分枝の向き	観察	1	直立	erect		
		(+)		branches		VG	2	やや直立	semi-erect		
						70-75	3	水平	horizontal		
						A/B	4	下垂	drooping		
							5	極下垂	strongly drooping		
17		QN	包穎の長さ	Glumes: length	乳熟期の包穎の長さ	測定	3	短	short		
						mm	5	中	medium		
						MS	7	長	long		
						70-75					
						A					
18		QN	止め葉の葉しょうの	Flag leaf: glaucosity	乳熟期の葉しょうのろう質	観察	1	無又は極少	absent or very weak		
		G	ろう質	of sheath	の多少	VG	3	少	weak	Pratex	
						70-75	5	中	medium		
						В	7	多	strong		
							9	極多	very strong		
19		QN	草丈	Plant: length (stem	糊熟期の穂を含む草丈	測定	3	短	short		
		(*)		and panicle)		cm	5	中	medium	Pratex	
		G				MS	7	高	long		
						80-85					
						A					

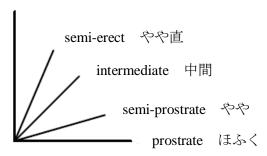
形質番号	U P O V	記号	形 (Charac (日本語)	質 teristics) (English)	定義	調査 方法	階級	(日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex.Var.)	備考
20		QN	穂の長さ	Panicle: length	糊熟期の穂の長さ	測定	3	短	short	_	
						cm MS	5 7	中 長	medium long	Pratex	
						80-85 A					
21		QN	第一穎果の外穎の	Primary grain: length	第一穎果の外穎の長さ	測定	3	短	short	Pratex	
			長さ	of lemma		mm	5	中	medium		
						MS	7	長	long		
						92					
						A					
22		PQ	原麦粒の外穎の色	Grain: color of	原麦粒の外穎の色の濃淡	観察	1	淡	light		
		(*)		lemma		VG	2	中	medium		
		G				92	3	濃	dark	Pratex	
						A/B					

Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質1 草姿

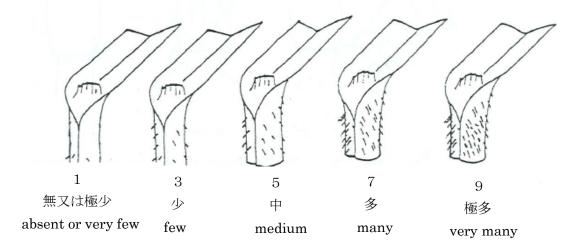
Char.1 Plant: growth habit

erect 直



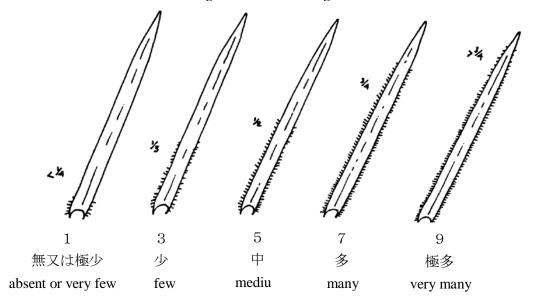
形質2 最下位葉の葉しょうの毛

Char.2 Lowest leaves: hairiness of sheaths



形質4 止め葉下の葉身の周縁の毛

Char.4 Leaf blade: hairiness of margins of leaf below flag leaf



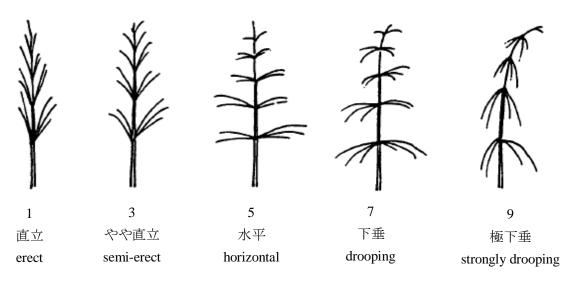
形質5 止め葉が反曲した植物体の出現頻度

Char.5 Plant: frequency of plants with recurved flag leaves

- 1. ほぼ全て又は全ての止め葉は直葉 almost all or all flag leaves are rectilinear
- 3. 約1/4の植物体の止め葉がそり返る about 1/4 of the plants with recurved flag leaves
- 5. 約1/2の植物体の止め葉がそり返る about 1/2 of the plants with recurved flag leaves
- 7. 約3/4の植物体の止め葉がそり返る about 3/4 of the plants with recurved flag leaves
- 9. ほぼ全て又は全ての止め葉がそり返る almost all or all flag leaves are recurved

形質16 穂の分枝の向き

Char.16 Panicle: attitude of branches



コード	一般記述	注記
	発芽	
00	乾燥種子	
01	吸水開始	
02	-	
03	吸水完了	
04	-	
05	穎果から幼根の出現	
06	-	
07	穎果から鞘葉の出現	
08	-	
09	鞘葉先端に葉がのぞく	
	苗の生長	
10	鞘葉から第1葉が出る	第2葉の視認(1cm 以下)
11	第1葉の展開	
12	第2葉の展開	
13	第3葉の展開	
14	第4葉の展開	
15	第5葉の展開	
16	第6葉の展開	▶ 葉身の 50% の展葉
17	第7葉の展開	
18	第8葉の展開	
19	第9葉又はそれ以上の展開	J
	<u>分げつ</u>	
20	主茎のみ	
21	主茎及び第1分げつ	
22	主茎及び第2分げつ	
23	主茎及び第3分げつ	
24	主茎及び第4分げつ	
25	主茎及び第5分げつ	このセクションは表の他のセク
26	主茎及び第6分げつ	ションの記録を補うために
27	主茎及び第7分げつ	"併用コード"として使われる
28	主茎及び第8分げつ	
29	主茎及び第9又はそれ以上の	D分げつ フ

茎の伸長

30 偽茎の立ち上がり

31	第1節が認められる	
32	第2節が認められる	
33	第3節が認められる	
34	第4節が認められる	
35	第5節が認められる	
36	第6節が認められる	
37	止め葉が認められる	
38	-	前穂ばらみ期
39	止め葉の葉舌/襟の視認期	幼穂形成前期
	<u>穂ばらみ期</u>	
40	-	幼穂形成期
41	止葉の葉しょうの伸展	
42	-	
43	穂の膨張視認期	穂ばらみ中期
44	-	
45	穂の膨張期	穂ばらみ後期
46	-	
47	止め葉の葉しょうの開裂	
48	-	
49	最初の芒の視認	有芒品種のみ
	出穂開花	
50 子	——— 第 1 小穂(頂花)視認期	
₅₁ J		
52 }	穂の 1/4 出穂	
53		
54 }	穂の 1/2 出穂	
₅₅ J		
56 >	穂の 3/4 出穂	
₅₇ J		
58 子	出穂完了期	
59		
	開花期	
60. >	<u>囲化類</u> 開花始め	
$\binom{60}{61}$	 	
62	-	
63	-	
64 >	- 開花半分	
$\frac{64}{65}$	元1 位下刀	
05 -		

```
66
67
68 >
    開花完了
ر 69
   乳熟期
70
    穎果に水分が満ちる
71
72
    乳熟初期
73
74
75
   乳熟中期
                          指の間で穎果を破砕すると液状胚乳
76
                         に固形分の増加が認められる
77
   乳熟後期
78
79
   糊熟期
80
81
82
   糊熟前期
                        爪のあとが残らない
83
84
    糊熟(中)期
85
86
87
    糊熟後期
                        爪のあとが残る、穂の緑色がうすれる
88
89
   完熟期
90
91
    穎果が硬化 (親指の爪で割ることが困難)
92
    穎果が硬化 (親指の爪で窪みがつかない)
93
    穎が日中緩む
    過熟、茎の枯れ上がり及び倒伏
94
95
    種子の休眠
                           脱落による穀粒のロスの危険
96
    完熟種子の発芽力が50%に上がる
    種子休眠がとける
97
    二次休眠の誘発
98
```

二次休眠の消失

99

2-di	igit Code Ger	neral description	Feekes' Scale			
~						
	mination					
00	Dry seed					
01	Start of inhibition					
02	- 					
03	Imbibition complet	te				
04	- Dadiala amanad fo					
05 06	Radicle emerged fr	om caryopsis				
	- Coloontile amanga	1 fuom comyonois				
07 08	Coleoptile emerged	i iroin caryopsis				
09	Leaf just at coleopt	rila tin				
	edling growth	ine up				
10	First leaf through c	oleontile	Second leaf visible (less than 1 cm)			
11	First leaf unfolded	oleoptile	Second real visione (ress than 1 cm)			
12	2 leaves unfolded					
13	3 leaves unfolded					
14	4 leaves unfolded					
15	5 leaves unfolded		50% of laminae unfolded			
16	6 leaves unfolded					
17	7 leaves unfolded					
18	8 leaves unfolded					
19	9 or more leaves un	nfolded				
Till	ering					
20	Main shoot only					
21	Main shoot and 1 t	iller	This section to be used to supplement			
			records from other sections of the table:			
			"Concurrent codes".			
22	Main shoot and 2 t	illers				
23	Main shoot and 3 t	illers				
24	Main shoot and 4 t	illers				
25	Main shoot and 5 t	illers				
26	Main shoot and 6 t	illers				
27	Main shoot and 7 t	illers				
28	8 Main shoot and 8 tillers					
29	Main shoot and 9 of	or more tillers				
	m elongation					
30	Pseudo stem erection	on				
31	1st node detectable					

32	2nd node detectable	
33	3rd node detectable	
34	4th node detectable	
35	5th node detectable	
36	6th node detectable	
37	Flag leaf just visible	
38	-	Pre-boot stage
39	Flag leaf ligule / collar just visible	
Boo	oting	
40 -	-	Little enlargement of the inflorescence; early-boot stage
41 42	Flag leaf sheath extending	
43	Boots just visibly swollen	Mid-boot stage
44	-	Wild book stage
45	Boots swollen	Late-boot stage
46	-	
47	Flag leaf sheath opening	
48	-	
49	First awns visible	In awned forms only
Infl	orescence emergence	
50	First spikelet of inflorescence	
51	just visible	
52	1/4 of inflorescence emerged	
53		
54	1/2 of inflorescence emerged	
55		
56	3/4 of inflorescence emerged	
57		
58	Emergence of inflorescence completed	
59		
Ant	hesis	
60	Beginning of anthesis	
61		•
62	-	
63	-	
64	Anthesis half-way	
65		
66	-	

67	-	
68	Anthesis complete	
69		
Mil	k development	
70	-	
71	Caryopsis watery ripe 10.5	4
72	-	
73	Early milk	
74	-	
75	medium milk	Increase in solids of liquid endosperm notable when
76	-	crushing the caryopsis between fingers
77	Late milk	J
78	-	
79	-	
Dot	igh development	
80	-	
81	-	
82	-	
83	Early dough	Fingernail impression not held
84	_	
85	Soft dough	
86	-	
87	Hard dough	Fingernail impression held; inflorescence losing chlorophyll
88	-	
89	-	
_	ening	
90	-	
91	Caryopsis hard (difficult to	divide by thumb-nail)
92		ger be dented by thumb-nail)
93	Caryopsis loosening in day	time
94	Over-ripe; straw dead and	collapsing
95	Seed dormant	Risk of grain loss by shedding
96	Viable seed giving 50% ge	rmination
97	Seed not dormant	
98	Secondary dormancy induc	eed

99 Secondary dormancy lost